



小学校と中学校の連携について

この場で何度かお伝えした「小中連携」ですが、10月27日（金）に小中連携推進事業の一環として公開授業が行われました。2つの授業が公開されましたが、一つは久枝小学校（以下久枝小）での総合的な学習の時間の授業、もう一つは鴨川中学校（以下鴨川中）での3校子ども会議です。

まず、久枝小での授業についてですが、これは小学校同士の連携になります。隣接した校区の小学校は他にもありますが、久枝小には多くの子どもたちが鴨川中へ進学するという共通点があります。今年度は、5年生が、総合的な学習の時間において地域のよさに関する情報を交換しています。1学期にはオンラインで互いの学校の紹介をしました。9月には、久枝小の5年生を潮見小に招いて、潮見校区の地域のよさを発表しました。そして、今度は、潮見小の子どもたちが、久枝校区のよさを聞きに久枝小へ行くことになったというわけです。

体育館に各グループが調査報告をするブースがあって、そこで潮見小の子どもたちが発表を聞く形式でした。久枝校区の宝である「久万川」に関する内容が中心で、川狩りのことや川の環境のことなどを知ることができました。潮見小の5年生は、発表の仕方についてアドバイスをしたり、潮見校区のよさと共通する部分を探して感想を述べたりしていました。

次に3校子ども会議についてですが、これは潮見小、久枝小の6年生と鴨川中の2年生が体育館で会議をしました。潮見小、久枝小の5年生と鴨川中の1・3年生はオンラインによる参加でした。

よりよい学級、学校、地域をつくるために、自分たちにできることについて話し合いました。最初に、各校の取組を発表しました。その後、「よりよい集団づくりのために私たちにできることを考えよう」というテーマについて小グループで話し合い、全体で「グッドコミュニケーションの約束」を決めました。小グループの話し合いでは中学生が、小学生の気持ちを考えながら上手に話を進めていたのが印象的でした。今回の子ども会議で決まった約束は、「相手の気持ちを考える・相手に関心をもつ」ということでした。普段の会話の中で、大人も子どもも心掛けておきたいことです。

小学校同士で、また小、中学校で連携することで、多様な考えに触れることができました。今後は、地域と協力して大きなことができるかもしれません。実際、潮見小と久枝小で一緒に何か活動をしたいという意見を発表した子もいました。また、多くの子どもたちは、いずれ鴨川中で出会う可能性があるので、入学時に安心感も生まれることでしょう。今後も、子どもたちのアイデアを生かしながら連携を続けていきたいと思っております。

